

## ようこそ！「教育の森」へ

教員生活35年目が終わりました。定年まで3年、その日がすぐそこまで迫ってきました。「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」という心境と、学級にこだわり続けたささやかな自負が相半ばする昨今です。

私が学校を去る頃、職員室の風景は劇的に変化しているはずですが、変化は世の常ですが、問題にされているのはそれが劇的に起こることです。それとても若い人たちには余計なお世話なのかも知れませんが、老婆心(いや“老翁心”か)ながら、できることなら継承してもらいたいなあということもあります。「不易」と「流行」ということが教育の世界でも言われますが、継承を願うことの多くは「不易」の範疇に属することのように思います。

20代の頃から教育サークルを作ったり、教育情報紙を発行したり…ちょっと変わった「余暇」を過ごしてきました。また、「本業」としてもレポートや論文にまとめたり、報告や講演をさせていただく機会が多々ありました。それらの中のいくつかは、ホームページ上で親しい幾人かの方に閲覧していただきました。今回、それらのものを内容別に整理し、新たに書き起こしたり補筆したりした上で、若い「友人」のみなさんに役立てていただけないかと考えています。

具体的には、別紙のような内容で、各回の文章をPDFファイルにします。そして、メールにPDFファイルを添付して登録いただいたアドレスにお届けします。原則月1回の配信で、2年間で配信が終了します。配信終了後に目次番号順に並べていただくと、「教育の森」という1冊の本になる予定です。

配信開始にあたり、少し申し添えておきたいことがあります。

「4月から教室で使える」と過度の期待を寄せていただいている方には申し訳ありませんが、その期待は呆気なく裏切ることになります。「教育の森」は、ハウツーものではありません。具体的事例が出てくることはありますが、それは内容をより理解してもらいやすくするためです。実践のヒントになることはあっても、そのまま使えることは殆どないと思います。

では一体何を伝えたいのかというと、教育実践・教育活動のバックボーンです。それは、活動の背景にある考え方であったり、理論に基づく活動の組み立て方であったり、ものの見方であったりします。

したがって、見開きハウツーもののような便利なものではありません。時にはA4で数十ページのファイルが届くこともあります。2年間では400～500ページのボリュームになると思います。2年もかけて配信するのは、原稿が間に合わないという当方の事情もありますが、じっくりと読み込んでいただきたいという願い故です。

私としましては、バックボーンを感じ取っていただきながら、目の前の子ども・目の前の教育活動(教材)に合わせてそれを移植して実践していただくのが何よりです。そうすることで、ハウツーものよりもずっと応用力のあるスキルが得られると確信しています。

私の文章や話は分かりやすいと仰っていただく方がおられる一方、難しくて分からないと言われる方がおられるのも事実です。私特有の書き癖(言い回し、表現方法)もあります。具体的事例については詳細を尽くせないこともあります。不明の点、疑問の点は、その都度ご連絡ください。可能な限り対応させていただきます。

それでは、2年間の長きに亘りますが、よろしくお付き合いください。

2013年4月1日

奈良市立吐山小学校 草尾佳秀

※ お問い合わせおよびご連絡は、下記までお願いします。

■連絡先 [kusao@kcn.jp](mailto:kusao@kcn.jp)

## 「教育の森」 目次

回数	配信日	内 容
	第1章	学級経営よもやま話
1	2013.4.1	1-1 学級開き
2	2013.4.8	1-2 学級目標
3	2013.4.15	1-3 家庭訪問
4	2013.4.22	1-4 学級通信
5	2013.5.1	1-5 50日が勝負
15	2014.3.1	1-6 集団づくりAtoZ
16	2014.4.1	1-7 生活綴り方の伝統
23	2014.11.1	1-8 教育は熱伝導
	第2章	授業で勝負する
24	2014.12.1	2-1 理論的ブレインを持つ
6	2013.6.1	2-2 ユニバーサルデザインという考え方
7	2013.7.1	2-3 論理力を育てる
8	2013.8.1	2-4 授業記録を読む
25	2015.1.1	2-5 読まない・書かない教師に明日はない
	第3章	フリーハンドの総合学習
9	2013.9.1	3-1 学級文化と集団づくり
10	2013.10.1	3-2 教育の「縦糸」と「横糸」
11	2013.11.1	3-3 人権学習としての総合学習
12	2013.12.1	3-4 環境学習としての総合学習
13	2014.1.1	3-5 地域学習としての総合学習
14	2014.2.1	3-6 集団づくりとしての総合学習
	第4章	心柱としての人権教育
17	2014.5.1	4-1 隠されたプログラム
18	2014.6.1	4-2 人権教育のデザイン
19	2014.7.1	4-3 人権学習のデザイン
20	2014.8.1	4-4 部落問題学習を語る
21	2014.9.1	4-5 平和教育を語る
22	2014.10.1	4-6 障害児教育を語る
	最終章	教師力とは何か
26	2015.2.1	5-1 教育課題をマネジメントする
27	2015.3.1	5-2 教師力とは何か

※配信日及び内容は変更される場合があります。

## 「教育の森」配信予定表

回数	配信日	内 容
0	2013.4.1	目次・配信予定表
1	2013.4.1	1-1 学級開き
2	2013.4.8	1-2 学級目標
3	2013.4.15	1-3 家庭訪問
4	2013.4.22	1-4 学級通信
5	2013.5.1	1-5 50日が勝負
6	2013.6.1	2-2 ユニバーサルデザインという考え方
7	2013.7.1	2-3 論理力を育てる
8	2013.8.1	2-4 授業記録を読む
9	2013.9.1	3-1 学級文化と集団づくり
10	2013.10.1	3-2 教育の「縦糸」と「横糸」
11	2013.11.1	3-3 人権学習としての総合学習
12	2013.12.1	3-4 環境学習としての総合学習
13	2014.1.1	3-5 地域学習としての総合学習
14	2014.2.1	3-6 集団づくりとしての総合学習
15	2014.3.1	1-6 集団づくりAtoZ
16	2014.4.1	1-7 生活綴り方の伝統
17	2014.5.1	4-1 隠されたプログラム
18	2014.6.1	4-2 人権教育のデザイン
19	2014.7.1	4-3 人権学習のデザイン
20	2014.8.1	4-4 部落問題学習を語る
21	2014.9.1	4-5 平和教育を語る
22	2014.10.1	4-6 障害児教育を語る
23	2014.11.1	1-8 教育は熱伝導
24	2014.12.1	2-1 理論的ブレインを持つ
25	2015.1.1	2-5 読まない・書かない教師に明日はない
26	2015.2.1	5-1 教育課題をマネジメントする
27	2015.3.1	5-2 教師力とは何か

※配信日及び内容は変更される場合があります。